

第17号(2012年6月号)

2012年6月15日発行

あらかき通信

(株)アラキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/>
info@kyoto-kozai.com


春から初夏に変わろうかという季節 気持ちのいい風が吹き、

なんともいえない心地よさですが、すぐ梅雨ですね。

みんな元気です。ありがとうございます。

前回のアラキ通信ではまだ工事中でした法輪寺さんの工事が無事完成いたしました。社寺の工事はいつも常にあるものではありません。何かの縁でいただくことが多いのです。御住職さんのお知り合いからの紹介や、総代さんや役員さんあるいは檀家さんからの推薦、また設計事務所さんからも引き合いがあります。なかなか望んでも仕事をいただくことは出来ない工事です。



今回も縁あって御紹介いただきました。紹介していただいた方の期待を裏切ることなく、また檀家さんからの喜びの声が聞けるように、ご住職の念願の思いを形に出来るようにと力をいれて施工いたしました。

完成に近づくとつれ、見にこられた方から、「立派になりました」「見違えるようになりました」とのうれしいお言葉をかけていただき、ようやく肩の荷が降りせる日が近づいてきたなと思えました。落慶法要にも御招待いただき、喜びの輪に入れていただきました。お礼を申し上げます。

工場の中は加工中の材木でいっぱいです

続けて2軒分大型の増改築の材料を加工しています。一軒目の加工を大急ぎでやり、現場に搬入します。すぐ、二軒目の材料を入れ、これも墨付け加工をしていきます。

連日3~4人の職人さんが作業をし、出来た物は別の倉庫に移し、まとめれば現地に搬入できる物は運び込み。また新しい材料を入れ作業を行います。目の回る忙しさです。



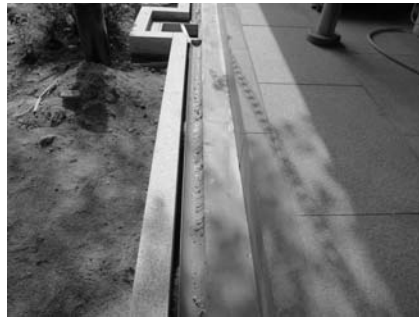
今、こんな仕事をしています。

建築業といえども家ばかりではありません。家の外廻りのことも考えます

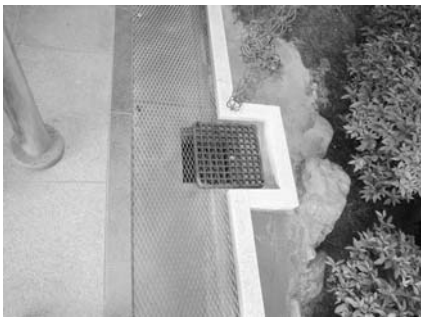
大きな庭に囲まれた建物から落ちる雨が樋でとらずに、そのまま屋根から落としていきます。雨降りに見ていると確かに風情があるのですが、下の庭は土が流れ屋根の銅サビも流れあまりよろしくありません。今回はこれを改修します。



現状の地盤です。まず土は7~8cm スキ取ります



雨が落ちる前後 30cm ほどを白御影石で囲みます



その内側に排水用の塩ビ管半割り部材を埋めこみ、周囲をコンクリートにて仕上げます。乾いたらその上にエキスパンションメタルを切り合わせて敷き込みます



周囲のマスやマンホール周囲の伊勢ゴロ石も不揃いが多く積み替えたり、石も入れ替えたりして姿を良くします

エキスパンドメタルの上
那智黒石を敷き詰めます

御影石から前部分は芝生も全面敷き詰めて完成です

短期間の工事でしたが、これでいくら雨が降っても土が流れたり、銅サビで植木が傷んだりはいしません。また芝生ではなく一部を苔張りしているところもあります。これはこの庭に自生していた苔で、外から持ってきて植えた苔より、ここで生えた苔がこの家には一番合う苔なので、大切に育てれば枯れることは無いと思います

伏見にある大きな町家の改修が完成しました

完成見学会にも御協力をいただき、延べ約 160 人の入場がありました



大手筋商店街の東入口近く駅前
のいいところです。
まず解体から
それにジャッキアップ



柱の根継ぎもあちこち行っ

東石も新たに据付ます

基礎は御影石の延べ石です
基本石の上に乗っているだけの
状態だけです



2 階の天井は二重天井にし、断
熱材を入れます

断熱材は天井裏全てに入れます



壁が足りないところは新しく小
舞壁を編んで土をつけます

大工と左官が同時に入っても、
広いお屋敷なので、邪魔せず
お互いそれぞれで作業を進めま
す



壁もドンドン塗っていきます

虫籠窓も綺麗に塗りなおします
手間がかかったヨ



内部仕上がってきました
勿論外部も仕上がって
います。もうすぐ完成です。



完成はこれです



ギャラリー兼住居にされるようです ありがとうございました

住まいについてのいろいろな話し 第14回

本物と、本物に似せた物(人造製品 シェリカ)と、偽物(フェイク)の話です。

ほん-もの【本物】ほんとうのもの。実物。
に-せる【似せる】似るようにする。まねる。
にせ-もの【偽物】本物に似せて作った品。

と辞書風を書けばこうなりますが、似せると偽物との線引きがややあいまいです。建築に限らず、本物に似せた物と偽物は現代の世に溢れかえっています。

我々が関係している建築では、似せた物はたくさんあり使いますが、偽物はありませんね。身近の物からあげていきます。アラキ工務店がいつも使っているものです。

柱 通常は桧、仕様により杉の無垢の柱も使います。桧集成柱も有りますが、ほとんど使いません。あと米松の柱これは使わない、米榎の柱も使いません。日本榎の柱はものにより桧より高価ですから使う場所は限定されま

す。
梁 通常は米松です。仕様により地松（日本松）も使いますが、大きな材はとれないので限定されます。集成材もありますがほとんど使いません。たまに使いますが、木材部分がスカスカな感じがして、もう一つの気がします。

土台 ヒバと桧を使います。勿論無垢材です。特にヒバはヒノキチオールを多く含んで防虫や防腐に有効でアラキ工務店では防腐処理剤を塗らない代わりにこれを使います。出来るだけ防腐剤や白蟻駆除剤を使わなくてすむように、そういったことに強い材料を使用しています。

仕上げ材等では

床板 畳下の板は構造用合板かまたは杉板無垢材（一等）を使います。特に京町家では杉板を使います。板の間の仕上げ材は多くの種類があります桧、杉、松の無垢材 栗、檜、桜、などの広葉樹系の無垢材 チーク、花梨、ウォルナット、マホガニーなどの外材系など全て無垢材を使います。メーカーが作っている複合フローリング（ベニヤ台紙の上に0.5mmほどスライスしたシートを貼り付けたもの）は限定的にしか使わないようにしています。これなんかまさに**似せたもの**の代表です。

天井板 和室の天井は基本板張りです。代表的なもので竿縁天井、大板底目天井、網代天井などです。お茶室なんかでは野地化粧天井や小舞天井などもあります。

竿縁天井 天井板は無垢材の天井板とベニヤ台紙の上に薄くスライスした本物の木を貼ったものがありグレードに応じて使い分けます。

大板底目天井 無垢材の大板は8帖間だと良いものだと軽く1,000万円は超えますので使えません。

ベニヤ台紙にスライスした本物を貼った**似せたもの**を使います。

この薄くスライスした本物部分を代わりに写真プリントしてエンボス加工した塩ビシートを貼ったものもあります。まず一般の人では見分けが付きません、精巧に出来ています。離れてみるとプロでも迷います。これも予算の関係上使う場合もあります。これも**似せたものの一つ**です。なにしろ本物が高いのと商品がありません。あっても材料メーカーが高値で買い、スライスして貼り付けるか、写真プリントのモデルとして買っていきます。なかなか人工的に木目を造るのは限界があって、自然に出来る木目にはかなわないそうです。

建築では偽物でだますということではなく、本物は手に入らないものを似せて造るか、無垢材は湿気等により膨張収縮、反りや割れも出てくる、これをイヤでクレームと考えるお客様の為に、ベニヤ台紙の上にスライスした無垢材を貼った商品を考えてのしょうね。クレームが怖いからハウスメーカーはほとんどこれを使っています。私達は材料の説明をし理解してもらったうえで無垢材を多用します。

山脇さんが見習いを卒業、一人前に。

これからは一人前の職人さんで仕事をしてもらいます。アラキ工務店初めての女性の大工さんです。5年間の見習い期間は長いようでもあり短いようでもありと、サテどちらでしたでしょうか。まだなりたてですから、マダマダ覚えるものがあります。



【本人から】

あっという間の5年間でした。

まだまだ覚える事はたくさんありますが、先輩方にいろいろ教えて頂き、勉強させてもらってもっと成長していきます。よろしくお願いします。

今年の新入生です



名前は村上卓弥
出身は宮城県です。
京都に来てひとりで生活
しがんばっています。
やっと仕事に慣れてき
て、アラキ工務店の一員
らしくなってきました。

これから夏のシンドイ季節を乗り切ればやっと
体も慣れてくるでしょう、
それまでは無我夢中でやるしかありません。
しっかりネ。

【本人から】

職人さんから教えてもらうことはたくさんある
ので、一つ一つを大切に一人前の職人になれる
よう精一杯がんばります！



編集後記

皆さんは覚えていますかあの耐震偽装事件。あの後なにが起こったか、構造耐力が不備なものは解体するか補強したことを。アレのそもそもの発端は安くあげることから始まった。高速道路バス激突事故、これも安い運賃を実現するためにドライバーに無理をさせた。それでもテレビでは今日もこの商品がああ品物がこんなに安いと言っている。高けりゃいいと言うものではないが、適正な価格を皆が見極め、あまり安いものは、おかしくないかと思ってみませんか。エー、ハハハ安けりゃいいか

村上